

種の概要

東北から九州にかけて分布し、内湾環境下や汽水域の潮間帯上部の打ち上げ物の下や岩礫下に生息する。殻長8mm、殻径5mm程度の楕円形で、多数の螺条脈を有し、成長脈が交差することで細かい格子目状となる。成貝では口唇は薄く肥厚し、周縁は白っぽくなる。外唇に1歯、内唇に3歯を有する。殻表面は橙色を帯びた茶褐色を呈し、毛を備えた殻皮を有する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

姫路市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。姫路市から赤穂市にかけての瀬戸内海沿岸や沖合の島、赤穂市大津川の汽水域、淡路島北部、中部の内湾で確認されている。既知産地では、局所的で個体数が少なく、再確認できない場所もあり、淡路島東部を除いて各個体群は脆弱である。

保護上の留意点

河口や内湾での生息可能な半ば埋もれた石や堆積物の存在は少ないが、彼らが要求する微環境は特定しにくい。内湾海浜部や河口干潟において、岩礫帯や打ち上げ物のある場所の保全に努める必要があるであろう。



写真提供：川淵千尋



写真提供：増田修